

平成 31 年度使用

中学校特別の教科道德用教科用図書の  
選定に必要な資料

教科用図書益田探択地区協議会

各発行者記号は、次のとおりである。

記号	発行者名	発行者略称
A	東京書籍株式会社	東書
B	学校図書株式会社	学図
C	教育出版株式会社	教出
D	光村図書出版株式会社	光村
E	日本文教出版株式会社	日文
F	日本教科書株式会社	日科
G	株式会社学研教育みらい	学研
H	廣済堂あかつき株式会社	廣あかつき

# 選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. (1)

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	1 内容、強度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心を高める工夫	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫		
A	○各校の重点項目を入れられるように、30時間分の教材が用意されている。付録教材が5つある。で、本書だけで35時間を行うことも可能になっている。 ○読み物資料に加えて、実際の写真やイラストなどがふんばんに掲載されており、場面や展開を理 解しやすいよう配慮されている。 例：1年「よりよいクヲス活動を目標して」(p.118) 2年「6千人の命のヒザ」(p.94～p.99)	○全学年の教科書の冒頭で、道徳の授業のあり方や話し合いの手引きがとど記述されている。 ○いじめや命や生命のことを考える内容を2～3時間連続で扱い、重点的に学習できるような構成を取り入れている。 例：2年 (p.22～p.31) 3年 命を考える (p.66～p.75)	○教材に「言葉」をテーマとして、2年よりよい社会を目指して (p.18) あきらめな い気持ちで (p.36) 学校用の教材 (1年「橋の上のおおかみ」(p.173) が掲載されており、生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。 ○各学年、問題解決的な学習がやりやすいよう工夫されている。例：3年その子の世界(p.144)	○新聞の授業に寄せられる様々な意見を紹介するだけでなく、少人数の学級でも多様な考え方を生かすことができるように工夫されている。 例：1年「だれもが社会をもちよく過ごせる社会を目指して」(p.83) 全学年「Action!」のページがあり、生徒が話し合いや役割演習を通して考えを深められている。例：1年 (p.94) 2年 (p.64) 3年 (p.88)	○教材の冒頭部分に関連のある教科等のワークがあり、教科等と連携した学習ができるように工夫されている。 ○2年p181には「読書で広げる道徳」が掲載されており、道徳科だけでなく、教育活動全体において、学びが広がるように工夫されている。 ○全学年、巻末に「テーマ」で振り返ることができるよう整理されており、キャリア学習や国際理解教育等と関連付けることができる。 例：1年 (p.176) 2年 (p.184) 3年 (p.184)	○思考を見える化し、話し合い活動を活発にするための授業支援ツール(心情報)が巻末付録に用意されている。 ○全学年、巻末に郷土の歴史を伝える人物や伝説・文化、技術や産業について考えられるよう工夫されている。 ○内容系統的に整理され、内訳が系統的に整理され、年間で通した指導の考としてやすい。	(感性をはぐくむ要素を含む) ○各教材巻末の「考えてみよう」では、複数の問いが掲げられており、生徒が段階的に学習できるよう工夫されている。 ○「つぶやき」の欄や直接考えを書き込むことができ、考えが深まるようになっている。 ○メイン教材の関連資料P1usにより、教材への理解を深める工夫がされている。 ○本書への書き込みと巻末の振り返りシートを活用して評価に繋げやすくなっている。
B	○学習指導要領に示された項目について、生徒の発達段階に合わせた適切な分量や内容になっている。 ○文字の大きさや挿絵のバランスがよく、読みやすい。 ○教材ごとに「心の扉」として内容項目を概括している。	○全学年に「いじめ防止」「情報モラル」などについて、直接的、間接的な教材を取り上げ、問題に對してじっくりと考える機会を増やしている。 ○オンラインや多様なデジタル教材も取り上げ、生徒の理解を深める工夫が見られる。	○各教材に3～4つ程度の発問が設定されており、その中に意見交換や役割演習などの活動を取り入れ、生徒の主体的な活動を進めやすい構成になっている。 例：(1年p.62～66、2年p.96～101) 〇「防災」や「社会参画」等に、さまざまな画(新聞、表、グラフ等)を用いて、関心を深めている。	○1年間や学期ごとの振り返りのページを設け、学びの記録を残すことができるように工夫されている。 ○地域と関わる内容の教材も多く取り上げ、実際の場面での考えを深めることができる。(3年p.162～167)	○職場体験や行事、部活動など、誰もが体験する活動についての教材が配置され、身近なこととして考えやすいものとなっている。(1年p.62～67、2年p.20～25) 〇各学年において、自然、人・文化など、地域への学習とつながり広げたりできるような資料が載せられている。	○各学年の初めに「学級づくり」の項目が設定されており、グループで自己紹介や、体感を聞きあうなど、互いの理解を深めたり、互いの理解を深めたり、つなげる活動が設定されている。(各学年p.4～5)	○学習指導要領の4つの観点や項目をベースの初めに示し、価値意識を深めている。 ○4つの観点や項目以外にも、道徳的なポイントを示し、つなげる活動を深めている。



# 選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. (3)

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
B	<p>1 内容、程度、分量等</p> <p>○35時間分の教材が精選段階を考えて選定され、内容項目のバランスを考えて配列されている。実語と物語の両方をバランスよく入れている。</p> <p>○各教材4ページ～6ページ程度のもものが多く、1時間で扱いやすい分量となっている。</p>	<p>2. 題材の選択や構成等</p> <p>○まず、p.1～p.2に「道徳科で学ぶこと」が全学年カラーの図と写真で示されており、最初と目的や内容項目をしっかりと「軸」として意識し、「いじめと向き合う」等、一つのテーマで複数の教材が連続して配列されており、より深く効果的に学習が進められるよう構成が工夫されている。いじめについて「もくじ」で生徒自身もとらえることができるよう工夫されている。</p>	<p>3. 興味・関心を高める工夫</p> <p>○SNSの使い方など身近な問題を漫画でわかりやすく示す等、生徒の興味関心を引き、内容や状況把握の助けとなる工夫がみられる。(1年p.92)</p> <p>○その教材の登場人物が写真または挿絵で題材名の下に掲載されており、興味を持つよう工夫が助けとなるよう工夫されている。</p>	<p>4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等</p> <p>○教材を讀んだ後、生徒が考え、議論できるような「学習の進め方」が写真付きで示されており、真実きをもつて取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>(1年p.40～p.41) (2年p.82～p.83) (3年p.20)</p> <p>○導入、終末部分が会話のみ、考えさせるための配慮がみられる。(2年p.112～p.115)</p>	<p>5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫</p> <p>○考えに迷う問題、しかも実生活に直結している問題を取り上げており、資料も提示するなど考えのための工夫がみられる。</p> <p>○他教科との関連が一望できている。上手に「怒りの感情」と生活に付きあおう」とり入れやすい方法が示されている。</p> <p>(1年p.42～p.43)</p> <p>○「命のトラジスタディザ」「エリカ～奇跡のいのち～」等、戦争、国際理解、人々の思い等、他教科の学びと関連させながら学びを深める工夫がみられる。(3年p.62)</p>	<p>6. その他</p> <p>○参考資料等に理解の助けとなる工夫がみられる。</p> <p>(3年p.73)</p> <p>○別冊の道徳ノートはカラーあり、イラストや写真が豊富で、語含め等、学習しやすいよう構成されている。</p>	<p>(感性をほぐす要素を含む)</p> <p>○様々な語り物資料がバランスよく配列されている。</p> <p>○各教材のあとに、「考えよう」(中心課題)として「自分＋」(自分事)として考えられるような質問を掲載する等、考えを深める工夫がみられる。</p> <p>○「学習の進め方」として写真などで手順を示しているなど、方法や流れがつかみやすいよう配慮されている。様々な方法で学びを深めている。</p>
F	<p>○内容項目4つの視点がバランスよく配置されているが、さらにはいじめを許さない心を育てるため、生命尊厳への学びを深める教材が多く配されている。(1年p.47、p.104、p.162、p.166、2年p.154、p.160、3年p.150、p.160、p.174)</p>	<p>○内容項目順に教材を配置してあり、順番に縛られず、自由に各教材を活かして学習を進めることができるようになっている。</p> <p>○授業開始に活用できるよう、冒頭には「道徳が科って何を学ぶの？」が掲載されている。</p> <p>○より自分の考えを広げたり深めたりできるよう教材以外のコラムが掲載されている。</p> <p>○巻末に「道徳の時間の振り返り」が設定されており、生徒自身が学びを振り返ることができる。</p>	<p>○先人や著名人の生き方から学べる教材が掲載されている。(1年p.16、p.26、2年p.58、p.138、3年p.23、p.126)</p> <p>○教材ごとに自然と議論が巻き起こるような「問い」が掲載されている。また、巻き起こるものもある。(1年p.70、2年p.70、3年p.74)</p>	<p>○歴史のある人たちの立場や視点を理解し、歴史者差別解消法について学べることができている。(2年p.96、3年p.88)</p> <p>○情報モラルを学び、自分ができる教材が各学年に配されている。(1年p.98、p.103、2年p.16、p.74、3年p.58)</p> <p>○伝統と文化、他国を尊重する心を育む教材が各学年配されている。(1年p.144、p.148、2年p.43、p.133、p.148、3年p.126、p.130)</p> <p>小泉八雲(3年p.134)、吉田松陰(1年p.26)</p>	<p>○「未来」は過去と現在の選択の結果であること、各学年の表紙には、過去から現在まで受け継いできた伝統や文化の写真と現在から未来へつながる新しい技術の写真が掲載されている。</p> <p>○新聞記事も取り上げられ、身近な話題に関心をもちよう工夫されている。(1年p.148、3年p.74、p.88)</p> <p>○各教材の中のことばが理解できるように各教材の下段に細かい説明がある。</p>	<p>○中学生の日常生活における身近な話題の教材が多く取り入れられている。その中には現在の日本が直面している課題として「いじめ」に関する「情報モラル」に関する「隣国」などを取り入れていく。先人や著名人から学ぶ教材も多く取り入れられ、バランスがとれている。</p> <p>○各教材には「問い」が掲載されているため、何について考えればよいのかが分り、議論が焦点化されるよう工夫されている。</p>	

